

4

「探偵小説」の新潮流

ブックガイド 本格派から日常の謎、魔法使いや政治家まで

貴族、政治家、元神主……個性的な探偵たち

末國善己

「日常の謎」にとどまらない、一癖あるミステリ

テレビ番組から戦場まで、異色の設定を楽しむ

ひやつかりようらん
百花繚乱、ミステリ界を牽引していく新人作家たち



65 WEB文蔵

250 筆者紹介

252 文蔵バックナンバー紹介

255 文蔵年間購読のご案内

234 北大路公子

盆と正月とクリスマスと台風 私のことはほっといてください②7

114 中江有里

会いたかったひと 晴読雨読①9

連載エッセイ

142 「本所おけら長屋」シリーズ一〇〇万部プロジェクト始動！

【東京激論編】【京都白熱編】

書店員緊急会議

66

田牧大和 色男、来たる 後編 鯖猫長屋ふしぎ草紙

團十郎に似た同心・掛井が、長屋の新入りについて探りを入れるにくる。

時代小説◎人気シリーズ

120 坂木 司

山の学校②0

危機は脱したものの剛は行方不明。そんななか、一太が衝撃の告白をした。

58 長岡弘樹

汚れ役(中) 影絵のミザンセヌ⑫

万引き防止のための狂言を仕事としているわたしは、ある女に目を留める。

214 山本一力

亀久橋のくま その一 猷残屋佐吉御用帖⑥

聡助店に住む六三郎とおかよが男児を授かった。祝いに訪れた佐吉は……。

20 宮本昌孝

天離り果つる国④

信長の使者として飛驒入りした七龍太は、白川郷探索後、帰雲城に現れる。

連載小説

158

澤田瞳子 慈雨 火定(終)

思いがけず諸男と再会した名代は、憎悪にかられて彼に襲いかかるが……。

感動の最終回◎連載小説